大気汚染防止法

揮発性有機化合物排出施設

設置（使用、変更）届出書 記載例

－ 設置届（使用届） 編 －

【注意】

- ・本記載例は、記載方法の一例を示したものです。
施設の仕様等によっては、記載事項の修正を求める場合があります。
- ・実際に届出をする際は、事前に御相談ください。
- ・提出部数は、正副2部となります。
- ・届出が受理された日から60日を経過した後でなければ、設置のための行為（工事着手等）ができません。提出期日に御注意ください。
- ・手続きが遅延した場合、「遅延理由書」等を添付していただく場合があります。

※本記載例は、揮発性有機化合物排出施設の設置届（または使用届）に関する一例です。

※使用届について

既に設置済の施設が、法改正によって新たに揮発性有機化合物排出施設になった場合は設置届ではなく、使用届として届出を提出します。

平塚市 環境部 環境保全課
(最終更新：令和6年12月)

①
揮発性有機化合物排出施設設置~~（使用、変更）~~届出書

②
令和〇年 〇月 〇日

平塚市長 殿

③
住 所 神奈川県平塚市〇〇町 1 - 1

届出者 名称及び 〇〇工業株式会社
代表者氏名 代表取締役 〇〇 〇〇

電話番号 XXXX-XX-XXXX

①
大気汚染防止法第 17 条の 5 第 1 項~~（第 17 条の 6 第 1 項、第 17 条の 7 第 1 項）~~の規定により、揮発性有機化合物排出施設について、次のとおり届け出ます。

④	工場又は事業場の名称	〇〇工業株式会社 平塚工場	※整理番号	
⑤	工場又は事業場の所在地	平塚市〇〇町×-×	※受理年月日	年 月 日
⑥	揮発性有機化合物排出施設の種類	2. 塗装施設 (1 台)	※施設番号	
	揮発性有機化合物排出施設の構造及び使用の方法	別紙 1 のとおり。	※審査結果	
	揮発性有機化合物の処理の方法	別紙 2 のとおり。	※備考	

- 備考
- 1 揮発性有機化合物排出施設の種類欄には、大気汚染防止法施行令別表第 1 の 2 に掲げる項番号及び名称を記載すること。
 - 2 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、函面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A 4 とすること。
 - 5 排出ガスを処理施設において処理していない場合には、別紙 2 の届出は必要ない。

記載の流れ（様式第2の2）

① 届出の名称、根拠条文等の選択

届け出る内容に該当しない字句は、削除せず二重取消線で抹消します。

・設置・使用・変更と条項の対応

--- 設置：第17条の5第1項、 使用：第17条の6第1項、
変更：第17条の7第1項

② 届出日

市に提出し、正式に受理された日の日付を記載します。

内容に不備がある場合には受理できない可能性がありますので、
空欄のまま窓口を持参しても問題ありません。

③ 届出者情報

氏名、住所及び電話番号を記載します。

法人にあっては、工場又は事業場の管理責任を負う代表者（代表取締役や工場長など）が所属する住所、社名及び代表者の職氏名を記載します。

④ 工場又は事業場の名称

届出施設を設置している工場又は事業場の名称を記載します。

⑤ 工場又は事業場の所在地

届出施設を設置している工場又は事業場の所在地を記載します。

地番から住居表示に改めた場合も含め、前回の届出内容から変更がある場合には、こちらの届出の前に、所在地変更に関する「氏名等変更届」の提出が必要です。

⑥ 揮発性有機化合物排出施設の種類及び台数

今回届出する揮発性有機化合物排出施設について、大気汚染防止法施行令別表第一の二に掲げる項番号・施設名称とその台数を記載します。

揮発性有機化合物排出施設の構造及び使用の方法

工場又は事業場における施設番号	塗装施設 No. 1		①
名称及び型式	〇〇社製 カラーブース XX-000X		②
設置年月日	年 月 日	年 月 日	③
着手予定年月日	令和〇年 〇月 〇日	年 月 日	
使用開始予定年月日	令和〇年 〇月 〇日	年 月 日	
規模	送風機の送風能力 (m ³ /h)		④
	排風機の排風能力 (m ³ /h)	180,000	
	揮発性有機化合物が空気に接する面の面積 (m ²)		
	容量 (k l)		
1日の使用時間及び月使用日数等	9時～ 15時 5時間/回 1回/日 20日/月	時～ 時 時間/回 回/日 日/月	⑤
排出ガス量 (Nm ³ /h)	168,000		⑥
使用する主な揮発性有機化合物の種類	塗装用シンナー (キシレン、トルエン)		⑦
揮発性有機化合物濃度 (容量比 ppm(炭素換算))	200		⑧
参考事項	VOC低減措置 ・低溶剤塗料を使用		⑨

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の2の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。
- ⑩ 3 揮発性有機化合物排出施設の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。
- 4 排出ガス量は、湿りガスであって、最大のものを記載すること。
- 5 揮発性有機化合物排出施設が貯蔵タンクである場合には、排出ガス量の欄には記載しないこと。
- 6 揮発性有機化合物濃度は、湿りガス中の濃度とすること。
- 7 揮発性有機化合物濃度は、揮発性有機化合物の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。
- 8 参考事項の欄には、揮発性有機化合物の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、揮発性有機化合物の排出の抑制のために採っている方法（排出ガスを処理施設において処理しているものを除く。）等を記載すること。

記載の流れ（別紙1）

- ※今回は、揮発性有機化合物排出施設を1台設置する場合の例です。
※3台以上の届出で列が不足する場合は、複数枚に分けて作成します。

① 施設番号（施設名称）

工場又は事業場で用いている施設の名称を記載します。
複数の施設で名前の重複が起こらないように注意してください。

② 名称及び型式

具体的な装置の名称・型番、製造会社名等を記載します。

③ 設置年月日等

新設の場合は、設置年月日は記載不要です。
工事着手予定年月日、工事完成予定年月日、使用開始予定年月日を記載します。
【手続遅延の場合の注意】3か所の「予定」の字句を二重取消線で抹消します。

④ 規模

備考2の説明に従い、届出するばい煙発生施設の規模要件に関する項目について記載します。

◆規模要件の例（大気汚染防止法施行令別表第一より一部抜粋）

・2. 塗装施設

排風機の排風能力が100,000m³/h以上のもの
⇒排風機の排風能力の欄に、施設の情報を記載する。

・8. 工業の用に供する揮発性有機化合物による洗浄施設

揮発性有機化合物が空気に接する面の面積が5m²以上のもの
⇒揮発性有機化合物が空気に接する面の面積の欄に、施設の情報を記載する。

⑤ 1日の使用時間及び月使用日数等

施設を使用する時間帯や、月間の使用回数を記載します。

⑥ 排出ガス量

備考のとおり、湿りガスとしての最大の値を記載します。
※施設の種類が「貯蔵タンク」の場合は、記載不要です。

⑦ 使用する主な揮発性有機化合物の種類

原材料の名称と、含まれる揮発性有機化合物の種類を記載します。

⑧ 揮発性有機化合物濃度

備考のとおり、湿りガスとしての濃度を記載します。

⑨ 参考事項

備考のとおり、排出量の変動や排出抑制の方法等を記載すること。

⑩ 構造図

揮発性有機化合物排出施設の構造図を添付します。
構造図には、主要寸法等を記載します。

揮発性有機化合物の処理の方法

↓処理施設がある場合↓ ↓処理施設がない場合↓

揮発性有機化合物の処理施設の工場又は事業場における施設番号		塗装用脱臭装置	(処理施設なし)	①
処理に係る揮発性有機化合物排出施設の工場又は事業場における施設番号		塗装施設 No. 1	塗装施設 No. 1	②
揮発性有機化合物の処理施設の種類、名称及び型式		〇〇(株)製 プラズマ脱臭装置 XX-XXX-0		③
設 置 年 月 日		年 月 日	年 月 日	
着 手 予 定 年 月 日		令和〇年 〇月 〇日	年 月 日	
使 用 開 始 予 定 年 月 日		令和〇年 〇月 〇日	年 月 日	
処 理 能 力	排 出 ガ ス 量 (Nm ³ /h)		168,000	④
	揮発性有機化合物濃度 (容量比 p p m (炭素換算))	処理前	500	
		処理後	200	
	処 理 効 率 (%)		60.0	

- 備考
- 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
 - 2 排出ガス量は、湿りガスであって、最大のものを記載すること。
 - 3 揮発性有機化合物濃度は、湿りガス中の濃度とすること。
 - 4 揮発性有機化合物の処理施設の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

記載の流れ（別紙2）

- ① **揮発性有機化合物の処理施設の工場又は事業場における施設番号**
揮発性有機化合物を処理施設で処理している場合は、工場又は事業場で用いている処理施設の名称を記載します。
処理施設が存在しない場合は、「処理施設なし」と記載します。
処理施設の構造図や排出口の構造図等を添付します。
- ② **処理に係る揮発性有機化合物排出施設の工場又は事業場における施設番号**
処理施設が、どの揮発性有機化合物排出施設に接続しているかを記載します。
- ③ **揮発性有機化合物の処理施設の種類、名称及び型式**
処理施設の具体的な装置の名称・型番、製造会社名等を記載します。
- ④ **処理能力**
処理施設の処理能力について記載します。
 - ・ **排出ガス量**
湿り排ガス量の値で記載します。
 - ・ **揮発性有機化合物排出濃度**
処理施設で処理する前の値と、処理後の値をそれぞれ記載します。
処理後の値が別紙1で記載した値と一致するか確認します。
 - ・ **捕集効率**
カタログ値や、「揮発性有機化合物排出濃度」の処理前、処理後の値から計算した捕集効率を記載します。

添付書類一覧

内容		添付番号
1	事業所案内図	添付○
2	揮発性有機化合物排出施設及び処理施設の設置場所	添付○ ①
3	揮発性有機化合物排出施設に係る資料 (配置図、平面図、立面図、構造図、仕様書、カタログ等)	添付○ ②
4	処理施設に係る資料 (配置図、平面図、立面図、構造図、仕様書、カタログ等)	添付○ ③
5	煙道図及び排出ガスの測定場所	添付○ ④
6	揮発性有機化合物排出施設及び処理施設に係る操業の系統の概要	添付○ ⑤
7	緊急連絡用の電話番号及び緊急時における連絡体制	添付○ ⑥

参考事項 ⑦

資本金	円	従業員数	
主要製品		操業時間	時 ~ 時
用途地域		敷地面積	m ²
		建物面積	m ²
受理書送付先	住所	〒	
	名称		
	部署・担当者名		
	電話番号		
届出担当者・連絡先等（上記「受理書送付先」の内容と異なる場合のみ記載）			
他法令等による許可・届出の状況	神奈川県生活環境の保全等に関する条例	不要・未了・完了	
	水質汚濁防止法	不要・未了・完了	
	騒音規制法	不要・未了・完了	

記載の流れ（添付書類一覧）

① 揮発性有機化合物排出施設及び処理施設の設置場所

排出施設、処理施設の位置が分かる平面図（配置図）を添付します。
配置図には、方位を記載します。

② 揮発性有機化合物排出施設に係る資料

揮発性有機化合物排出施設の構造図やカタログ等を添付します。
構造図には、主要寸法を記載します。

③ 処理施設に係る資料

処理施設の構造図等を添付します。
※処理施設がない場合は、この欄には記載不要です。

④ 煙道図及び排出ガスの測定場所

揮発性有機化合物排出施設から排出口までの、排ガスの経路（ダクト等）を示した図と、排出口の断面積、地面（G L）からの実高さが分かる図を添付します。

さらに、排出ガスの測定口の位置、内径を示した図を添付します。
揮発性有機化合物排出施設の構造図とまとめても問題ありません。

⑤ 揮発性有機化合物排出施設及び処理施設に係る操業の系統の概要

事業所の操業の系統のうち、対象の施設が関係する一系統について、操業の系統図（フローチャート等）を添付して示します。

⑥ 緊急連絡用の電話番号及び緊急時における連絡体制

事故等が発生した際の連絡体制について、連絡網等を添付します。
※部署名等で記載し、個人名や個人の連絡先等は削除してください。

⑦ 参考事項

工場又は事業場に関する概要を記載します。